



(C) 三郷市 2009

2023 年
春季号

令和5年4月発行
公明党三郷市議団
三郷市役所
(公明党控室)

☎048(953)1111



市議団ホームページ

令和5年度予算決まる！

令和5年度の一般会計当初予算は、前年度と比較して1.6%、9億円増加の561億円となり、16年連続増額となり過去最高予算額となりました。新年度の最重要・重点施策事業の概要は次の通りです。

○持続可能な拠点の形成（まちづくりは道づくり）

「地球温暖化対策推進事業（電気自動車購入補助金の新設）」「配水管整備事業（更新時期の水道管を耐震管に順次更新）」等

○多様性のある地域の確立

「地域コミュニティの充実」

「農業経営・生産支援事業」「ふるさと納税推進事業」等
質の高い教育と切れ目ない子育て支援強化

「子どもたちの成長を見守る・夢を育む」

「子ども医療費支給事業（医療費助成対象を18歳まで引き上げる）」「通学路安全対策事業」

「小・中学校給食費物価高騰支援事業」等

新年度も、市民の皆さまからいただいたご意見・ご要望をもとに、私も公明党三郷市議団の数々の市民要望が反映された予算になっております。また、少子高齢化、物価高騰、長引くコロナ禍、そして国際社会での厳しい状況が続いていますが、発展を続けてきた本市の歩みを止めることなく、今後も、安全で安心して暮らせる住み良いまちづくりを全力で推進してまいります。

緊急要望書提出！！

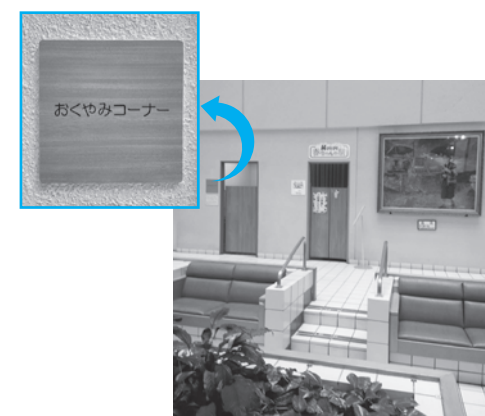
3月20日木津雅晟市長に対し、「国による追加の物価高騰対策等を見据えた緊急要望書」を提出しました。国の地方創生臨時交付金の追加交付が決まり次第、市としてすぐに有効に活用するよう要請。



具体的には水道料金の減免、低所得者世帯への支援や子育て世帯への更なる支援、学校給食費の補助、医療機関や社会福祉施設への支援などの要望をしました。

「おくやみコーナー」設置

市役所1階に「おくやみコーナー」が設置されました。亡くなられた市民に関する市役所での手続きについて、各担当課職員が出向く形で対応するワンストップサービスを実施します。手続きは予約制とし、事前予約をすることで、市役所内の必要な手続きが把握できるとともに、必要な書類の案内もできるようになります。



みなさまの声が実現しました！

三郷中央駅周辺を リニューアル！

三郷中央駅と周辺区域約28haを対象に、広場スペースの確保や歩道の高質化など、機能性向上を目的として整備します。令和5年度は詳細設計をします。



行政のデジタル化推進

「書かない窓口」が始まります！

マイナンバーカードや運転免許証の読み取りで、申請書類の自動作成が出来る「スマート窓口（書かない窓口）」がスタートします。更に、DX（デジタルトランスフォーメーション）計画を策定し、AI、RPAなど、デジタル技術を活用した利便性向上と行政の効率化を目指します。



運転免許証自主返納 に支援！

高齢ドライバーによる交通事故防止を図るため、運転免許証を自主返納した高齢者に対して移動の支援を実施します。

〈対象者〉

4月以降に返納した65歳以上の市民

〈支援内容〉

タクシー利用券、バス回数券、自動車燃料費助成券のいずれか1万円分

※一人1回限りの助成となります。



南部地域防災コミュニティ 施設整備進行中！

南部地域における防災機能を強化する防災拠点として、また、地域のコミュニティの強化・交流推進する防災やコミュニティ機能を備えた施設の整備を行います。



教育相談体制の 更なる拡充をします！

現在、市内には3カ所の教育相談室が設置されていますが、いじめ、不登校など、さらに現代的な多様な課題へも対応が必要であることから、相談員の補充、相談時間の拡充など相談体制の強化をします。



AEDを屋外に 設置！

市内小・中学校に配備しているAEDを、いつでも利用できるよう屋外設置用の収納ボックスを整備します。更に、屋外運動施設等にAEDを設置し、利用者が安心してスポーツを楽しめる環境を整備します。



子育て支援が前進！

こども医療費助成が 18歳までに拡大！

こども医療費の助成対象年齢が、4月1日診療分から、18歳年度末までに拡大されました！
※平成17年4月2日から平成19年4月1日生まれの児童の保護者の方は、助成を受けるためには、新たに申請が必要です。



リトルベビーハンド ブックができました！

母子健康手帳の発育曲線グラフは、体重が1,000gから身長が40cmからで、小さく生まれたお子さんは目盛が無くて書けません。そんな赤ちゃんをご家族のために、「リトルベビーハンドブック」ができました。



3月議会

一般質問

AYA世代がん患者への 在宅支援制度を！

終末期のがん患者が在宅支援を受ける場合、40歳以上であれば介護保険が、20歳未満なら、「小児慢性特定疾病（しっぺい）制度」が使えますが、この狭間の世代には制度が整備されていません。この世代を助ける支援制度の設置について質問しました。
※AYA世代とは思春期～30代位を指します。

防犯カメラ設置補助を！

強盗による凶悪な犯罪がメディアを騒がし、多く市民から不安の声が上がっています。市民の命と生活を守るために、市内の防犯対策の強化は急務です。市民や団体が自主的に防犯カメラを設置し市が補助、管理を行う「防犯カメラ設置補助事業」について質問しました。



不登校児童生徒の学習支援を！

どうしても学校に登校できない児童生徒につながる“居場所”として、オンライン教室を設置し、寄り添った学習支援をすることについて質問しました。

認知症の見守り支援を！

認知症の方が安心して外出できるよう、見守りや声掛けに協力して下さるお店や事業所にステッカーを貼るなど、街全体で支える気運作りについて質問しました。

公明党市議団



さかまき 宗一
☎955-2772



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554



なるみ 和美
☎955-7715



西村 すみえ
☎958-8369

くらしの相談はお気軽に！！

令和5年度 主な新規事業

	事業名	事業概要等
1	小・中学校給食費物価高騰支援	現在の学校給食納付金額は据え置き（小学校 3,950 円、中学校 4,700 円）物価高騰による値上がり相当分を市が負担する。
2	学校給食センター整備等事業	瑞沼市民センターグラウンドの敷地内に（仮称）瑞沼学校給食センターを整備する。令和6年度完成予定。
3	地域防災推進事業	小中学校のPTAに防災講師を派遣して防災講座を実施することで、保護者に対する防災意識の啓発を図る。
4	子育て支援事業	日々の食事に欠ける児童に対して配食を行い、健康の維持及び見守りを行う。また、定期的にモニタリングを実施し、当該家庭の諸課題の解決に取り組む。
5	妊産婦健康診査等事業	住民税非課税世帯又は同等の所得水準であり、継続的な支援を行う必要がある妊婦に対し、妊婦を確定するための初回産科受診費用について補助を行う。
6	子育て支援拠点事業	授乳室が設置されていない公共施設において、授乳スペースを確保するためBOX型の授乳室を設置する。
7	保育所等整備推進事業	待機児童の解消を図るため、認可保育施設（定員90名）1園の新設整備を補助する。
8	図書館運営事業	高齢者施設及び市内小中学校へ、それぞれの施設利用者のニーズに合わせた本をセットにして貸し出す。 本の配送には、ふれあいブックワゴンを1台追加導入し活用する。
9	通学路安全対策事業	「埼玉県通学路整備計画」に基づき通学路の安全対策工事等を実施する。
10	観光振興事業	江戸川サイクリングロード利用者に本市の魅力を十分に感じられる環境を整えるため、市内立ち寄りスポット（店舗等）にサイクルスタンドの設置等整備を実施する。
11	防災行政無線・防災情報システム運用管理事業	クラウド型被災者支援システムを導入する。 情報を一元管理することで支援漏れや二重支給を防ぎ、マイナンバーカードを活用してコンビニ等で罹災証明書を交付可能とするなど利便性を向上させる。
12	都市公園等整備事業	におどり公園のステージ床面及び階段の拡張、並びにステージ背面の風除けを設置するための設計を行う。